

VI Academic Exchange with Foreign Institutions
(Annual Report(2nd semester, 2019-1st semester,
2020))

メタデータ	言語: jpn 出版者: 公開日: 2021-04-28 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: 松田, 紀子, ライアン, 優子 メールアドレス: 所属:
URL	https://doi.org/10.14945/00028203

VI 海外大学・機関との交流

松田 紀子／ライアン 優子

1. 大学間・部局間交流協定

当該期間に、次の1件の大学間協定、4件の部局間協定が新たに締結された。

(協定校名(国名)署名月)

〈大学間交流協定〉

マチュン大学(インドネシア) R1 (2019).12

〈部局間交流協定〉

□グリーン科学技術研究所

国立清華大学エネルギー・環境研究センター(台湾) R2 (2020).3

□農学部・総合科学技術研究科農学専攻

タクシン大学 技術・地域開発学部(タイ) R2 (2020).6

□理学部・総合科学技術研究科理学専攻

武漢理工大学材料科学与工程学院(中国) R2 (2020).8

〈大学ネットワーク〉

アジア太平洋大学交流機構 UMAP 加盟・学生交流プログラム参加

R2 (2020).7

2. 海外同窓会活動・海外における静岡県内自治体、企業との連携

国際連携推進機構は、各国の卒業生のネットワーク強化と、海外の活動における静岡県の自治体、企業との連携推進に努めている。また、タイ、インドネシア、ベトナム、マレーシアにおいて静岡大学海外同窓会を運営している。当該期はコロナ禍の影響で対面での活動が難しかったため同窓会の開催を見合わせて、次年度以降の活動について検討を進めた。

3. 海外拠点整備

1) タイ海外事務所(平成21(2009)年開設、タマサート大学内)

タマサート大学ランシットキャンパスの理工学部を設置している静岡大学タイ事務所において、同事務所付きの非常勤スタッフ1名が週に一日の活動を行った。主な活動内容は、タイからの留学生の派遣支援活動で、アジアブリッジプログラムの学士課程を中心とする静岡大学の広報である。

2) インドネシア海外事務所(平成22(2010)年2月開設、ガジャマダ大学UGM農学部内)

当事務所には、Skype用スクリーンを設置し、インドネシアにおける活動を活発化させるためのインフラを整備している。UGM教員の本学客員教授への任命を通じて、毎年農学部がガジャマダ大学農学部の協力を得て「海外フィールドワーク」科目として1週間の現地実習を行う際の現地のコーディネートを行うほか、本学職員の海外研修派遣としての現

地訪問として積極的に選択されている。また、インドネシアでは、平成27年3月からインドネシア大学工学部の厚意で提供いただいているスペースに設置したSkype用スクリーンやパソコンを活用して、本学とインドネシア大学をつなぐSkype会議を重ねて開催するなど、交流活動をさらに活発化させている。

3) ベトナム海外事務所（平成27（2015）年3月開設、ベトナム・ハノイ国家大学外国語大学内）

ハノイ外国語大学内にSkype用スクリーンやパソコンを本学から提供して設置し、本学教職員の現地訪問時の活動拠点としている。

4) ジョイントラボの設置（令和元（2019）年9月開設、マレーシア工科大学内）

大学間交流協定校のマレーシア工科大学UTM内に、本学グリーン科学技術研究所とUTMのInstitute of Bioproduct Developmentとのジョイントラボが開設され、開設記念式典に本学白井副学長らが出席した。今後の共同研究の推進などが期待される。

4. インターアカデミア・アジア Inter-Academia Asia 2019

2019年12月2日から4日までの3日間、アジアの協定校との国際会議インターアカデミア・アジア第6回会議を、アソシアホテル静岡を会場に開催した。会には海外の6か国9大学から18名（教員10名、学生8名）を招聘した。

初日（12月2日）のラウンドテーブルミーティングは、静岡大学副学長（国際戦略担当）の白井靖人教授（国際連携推進機構長）による挨拶に始まり、招聘9大学と静岡大学の修士課程における教育の国際化の取組に関する事例発表と意見交換を行った。同日夜に、本学とマチュン大学（インドネシア）との大学間交流協定の締結にあたって本学石井潔学長およびDr. Murpin Josua Sembiringマチュン大学長による署名式を、交流の中心となる理学部と農学部の田中直樹教授・理学部長と森田明雄教授・農学部長の立ちあいのもとに行った。その後、インターアカデミアアジア招聘者の歓迎会を開き、招聘教員・学生と静岡大学の教職員の交流の機会を持った。

2日目（12月3日）のYoung Researchers Conferenceでは、静岡大学の大学院から23名、招聘大学の大学院から9名が参加し、英語による研究発表を行った。浜松キャンパスの工学専攻からも多くの参加者があり、招聘大学の教員が各分科会のチェアを務める中、各発表者は15分間の発表と質疑応答を行った。

3日目（12月4日）は各キャンパスに会場を移し、研究科を訪問した。静岡キャンパスでは理学・農学・人文社会学・教育学の研究科、グリーン科学技術研究所を訪問し、研究・教育活動について、意見交換をした。当日は清々しい晴天に恵まれ、静岡キャンパスの周辺、各所から、また午後には訪問をした日本平から富士山の雄大な姿を堪能することができた。浜松キャンパスでは、タイ、インドからの招聘者が工学、情報学の各研究科を訪問した。

今回で6回目を迎えるインターアカデミア・アジアの会議には、これまでに11か国37大学・機関が参加をしている。本会議は、修士課程の国際化を焦点に大学間の協力関係を強

化する機会として、今後も継続して開催する予定である。

海外協定校 9大学

〈参加大学〉 海外協定校 9大学（教員 11名、学生 8名）

インド：アンナ（工）

インドネシア：バンドン工科（農）、マチュン（理）、ガジャマダ（国際・農・グリーン研）

タイ：キンモンクット工科ラカバン校（情）、シーナカリンウイロート（教）

フィリピン：マリアノマルコス州立（国際・教・農）

マレーシア：マラヤ（人文社会）

ミャンマー：マンダレー外国語（国際・人文社会）

5. Inter-Academia インターアカデミア 2020

2020年の中東欧の協定校との国際会議 Inter-Academia は9月21日から23日にベラルーシのゴメルズテート大学にて開催予定であったが、世界的なコロナウイルス感染拡大を受け、2021年度に延期をすることとなった。

6. 日本学生支援機構「海外留学支援制度（協定受入・協定派遣）」

本事業は、学生の超短期での海外派遣・受入れを推進することを目的として平成23年7月より開始された奨学金事業で、平成27年度から「海外留学支援制度（協定受入・協定派遣）」（双方向協定型：1セメスター以上の交換留学、短期研修・研究型：8日以上1年以内）として実施されているものである。高等教育機関には、交流校との間で短期の学生の派遣・受入れの教育プログラム（単位付与を伴う）を構築することが期待され、このプログラムに参加する学生に一定の奨学金が支給される。

当該時期における本学の申請、採択状況および延べ受給学生数は、以下のとおり。

令和元年度：

- 学生交流創成タイプ（タイプA）申請6、採択0、追加採択1件（双方向協定型）
追加採択1件の受給実績：受入24名、派遣13名
- 学生交流推進タイプ（タイプB）申請1、採択1（短期研修・研究型）
受給実績：派遣25名

令和2年度：

- 学生交流創成タイプ（タイプA）申請1（双方向協定型）

7. 博士課程ダブルディグリープログラム（複数学位制度、DDP）

創造科学技術大学院の博士課程ダブルディグリープログラムにおける派遣生は、当該期間中、令和元年10月に6名、令和2年4月に1名の受入があった。派遣元はインドネシア大学（インドネシア）、SRM大学（インド）、サンクトペテルブルグ工業大学（ロシア）である。

8. 海外教育機関との往来訪

来 訪

10/1 リガ工科大学 Leonids Ribickis学長 (浜松)	ラトビア
10/10-11 マリアノマルコス州立大学 Shirley C. Agrupis学長ほか4名 (浜松・静岡)	フィリピン
10/28 さくらサイエンス、インドネシア高校生・教員9名、静岡県大学課招聘 (浜松)	インドネシア
10/31-11/1 ネブラスカ州立オマハ校UNO Geoffrey P. Gold学長ほか6名、大学間交流協定締結40周年記念式典	アメリカ
11/9 インド工科大学ハイデラバード IITH B.S. Murty学長ほか2名、JICA職員1名、Doctoral Degree Sandwich program (DDSP) 署名式	インド
11/25 スンバワ工業大学 教員、職員2名 (浜松)	インドネシア
11/25 忠南大学 Jun Heon Lee副学長 (国際交流担当)	韓国
11/28 アレクサンドル・イワン・クザ大学 教員2名	ルーマニア
12/2-4 インターアカデミア・アジア第6回会議	インド、 インドネシア、 タイ、 マレーシア、 フィリピン
12/11 オブダ大学 Imre Felde副学長 (国際交流担当)	ハンガリー
12/23 ヤシ農業科学獣医学大学 教員1名	ルーマニア
1/9 東国大学・ソウル国立大学 (理学・さくらサイエンス)	韓国
1/17 木浦大学 Seung-Jin Ma准教授ほか3名、農学部との部局間協定更新協議	韓国
1/23 ブダペスト工科経済大学 Péter Korondi 教授、工学部での講演・研究打合せ	ハンガリー
1/24 キンモンクット工科大学KMUTT Anak Khantachawana学長補佐 (国際交流担当) ほか2名、農学部研究室交流・インターンシッププログラム紹介	タイ
2/4 アンナ大学 学生・教員11名	インド

往 訪

10/5-6 JASSO留学フェア (ホーチミン、ハノイ)	ベトナム
10/10 日・インドネシア学長会議 (広島)	
10/30 インド工科大学ハイデラバード IITH (JICA IITH-Japan Collaboration Academic Fair 2019)	インド

11/23-24 JASSO留学フェア（スラバヤ、ジャカルタ）	インドネシア
11/22、25～27 日本語学校（スラバヤ・ジャカルタ）・高校2校（チカラン）・ガジャマダ大学訪問、日本領事館主催懇親会（スラバヤ）、海外職員研修	インドネシア
1/30 JST日印大学交流会（さくらサイエンス）（東京）	